



日高ロータリークラブ WEEKLY

2025-2026 R.1テーマ
よいことのために手を取り合おう

THE ROTARY CLUB OF HIDAKA

例会日	毎週火曜日	時間	第1・3週 18:00~19:00 第2・4週 12:30~13:30
例会会場	日高市商工会	住所	〒350-1206 日高市南平沢1083 日高市商工会館内
事務所	同上	TEL. FAX	042 (985) 3355
会長	小坂雅彦	幹事	町田秀雄 会報委員長 犬竹一浩

第1957回例会 2026年3月31日(火) 通常夜間例会 第1958回例会 2026年4月 7日(火) 観桜会

2026年4月14日発行 第1738号

本日のお客様 キム スンボク 金 承福様
会長の時間 小坂雅彦会長



会員皆様の御協力のもと、3月23日(月)第2回目のフードパントリー事業を無事終わることが出来ました。社会奉仕事業としては、本当に意義ある活動であると痛感致しました。前回もそうでしたが、社会福祉協議会の職員皆様から感謝の御言葉をたくさん頂戴致しました。現在日高市に於いては、経済的な事情などにより食の支援を必要とする世帯が増加傾向にあるとのことです。やはり育ち盛りのお子様を抱える家庭などには、それなりの支援(食材提供)をしたい所であります。また、物価高騰などの影響もあるのでしょうか…食材支援の案内通知を出しても、なかなか食材が集まらないのが現状との事。現在、食材支援は予約制にしているそうです。社会福祉協議会主催のフードパントリー事業は年8回開催、1回に200名の市民の皆様が食材提供しているそうです。今後も、当クラブの社会奉仕事業として続けていけることを願います。さて、4月に入りますとクラブ行事も最終段階(笑)に入ります。観桜会、飯能RC合同ゴルフコンペ、クラブリーダーシップトレーニングセミナー(地区研修協議会)と続きますが、地区研修協議会が終わりますと、いよいよ会長エレクトへバトンパスなのかなあ…とおもっています。その後も親睦旅行等々ございますが、あと少し…引き続き会員皆様の御協力を宜しくお願い致します。



幹事報告 町田秀雄幹事 理事会報告(承認事項)

- ・飯能・日高 RC 合同ゴルフコンペについて 4月7日
- ・青少年健全育成団体表彰の件 5月19日 5団体表彰
- ・親睦旅行について 6月9日(横須賀方面)

卓話 キム スンボク 金 承福様
～プロフィール～

ソウル芸術大学文芸創作科で現代詩を専攻。1991年卒業し渡来。日本大学芸術学部文芸科卒。広告代理店勤務後、2000年にWeb制作会社社長となる。「来日してから欠かさなかったことは韓国の詩や小説を読むこと」というほどの本好きが高じて、韓国小説を日本語で翻訳をし、友人らに読ませ続けるうちに、自ら出版社を立ち上げて出版することを決心。2007年(株)クオンを立ちげる。そして事務所移転に伴い2015年7月7日神田神保町に韓国語原書書籍・韓国関連本を専門に扱うブックカフェ「CHEKCCORI (チェッコリ)」をオープン。

～新しい風が原動力に～

私は、韓国全羅北道の靈光(ヨングァン)という海沿いの町で生まれました。風光明媚な田舎都市でしたが、1986年になると国のエネルギー不足を補うべく、靈光には原子力発電所が建てられました。「靈光の名物(有名な名所等)と言えば?李先輩、答えて下さい(笑)」。そう、以前は『クルビ(イシモチの干物)』でしたが、以降は『原発』と言われるようになりました。



原発に関わるエンジニアの家族が多く引越しをして来たため、学校にも転校生が増えました。都会の風を運んで来た転校生から、目に見えない多くの事を学んだ気が致します。今考えると、こうした変化にとんだ幼児期の経験が、外国への憧れや知らない世界に飛び込む行動力を育んだのかもしれませんが。その御蔭で、自分が今こうして皆様の目の前に立つことが出来ているのです。学生時代ですが…日本大学芸術学部は1年生の時からゼミがあって、仲間と連日演劇を見に行ったり美術館にいったりと、様々な体験ができて本当に楽しかったです。本を読む時間もふんだんにありました。私は日本の小説が大好きで、村上春樹、吉本ばなな、川端康成なども愛読しておりました。『non-no』などの雑誌を読むのも好きでした。所が、日本の友人に「韓国の小説家を知ってる？」と訪ねても、誰からも「知っている」「読んだことがある」等の返事は返ってきませんでした。この事実には、私は愕然としたことを今でもはっきりと覚えています。韓国にも素晴らしい小説家は数多といるのに、その作品を誰も知らないなんて…がっかりと、寂しさで「皆にも、その素晴らしい本たちを紹介したい！」と考えるようになりました。友人によると、その当時から私が「韓国の文学を日本に紹介したい」とか「韓国の本屋を作るんだ」と言っていたそうです(笑)。

～やりたいことをやる!クオン立ち上げ～

2000年から広告関係の会社で、韓国を紹介するwebサイトを立ち上げました。韓国のITソリューションを、日本向けにカスタマイズするなどの仕事を手がけるようになりました。その後日韓でサッカーのワールドカップが共同開催されることになり、韓国のコンテンツへの注目度が爆発的に高まったお蔭で、大変忙しくかなりの成果もありました。しかし2008年にリーマンショックが起きると、仕事の依頼が来るペースが一気にダウンし、今までのようには行かなくなりました。世情に振り回されて一喜一憂することが嫌になり「だったら自分がやりたい仕事をやろうと!」一念発起し、クオン(出版社)を立ち上げることにしました。最初から文学専門の出版社にしたいと思っていて、2011年に『菜食主義者』を出版しました。この作品が人間の本質を突き止めた内容だった為、どうしても出版したいと思いました。日本に於いて、「小説が好きな人になら絶対に響くだろう」と思ったからです。すぐにあちこちのメディアに書評が掲載され、自分がいいと思ったものは皆に伝わると実感しました。今ではハン・ガン(2024年アジア人女性として初めてノーベル文学賞を受賞)の本は4冊出版し、小説以外にもエッセイや人文書など、韓国に関係する本は幅広くカバーしております。在日作家・金石範さんの『新編鴉の死』や、全20巻にもなる『土地』(朴景利)など、歴史を描いた大作も刊行しております。

～ワクワクが止まらない!今後の夢～

近年はK-POPなどの人気もあり、お蔭様で韓国の書籍や文化が日本のみならず、世界中へと知れ渡るようになりました。今後は、優秀な翻訳家を育てることに貢献したいと考えております。現在は、韓国の本に関する様々な情報を発信している一般社団法人K-BOOK振興会と一緒に、優秀な新人翻訳家の発掘を目指して、『日本語で読みたい韓国の本翻訳コンクール』を開催しております。選考は第一線で活躍されている作家・翻訳家によって行われ、受賞作品はクオンから刊行しております。年々応募者が増えており、なかなかの激戦になって参りました。そして、現在の店舗(神保町)にはエレベーターが無いのです!毎週行っている朗読会やイベントに来てくださる方の中には、車椅子の方、障害を抱えている方、御高齢の方が数多くいらっしゃいます。階段で3階まで上がってくるのは本当に大変なこと…。近いうちに引っ越しをしたいと考えております。李先輩!いい物件を宜しくお願いします(笑)。最後になりますが、私の好きな言葉を聞いて下さい『本を読む人は美しい、本を買う人はもっと美しい』です。映画を鑑賞したり、ゲームなどをして楽しむのもいいことですが、たまには本屋に出向いてお気に入りの一冊を手にとってみて下さい。

出席報告	3月31日	会員数	出席数	出席免除	欠席数	出席率	3/10 修正率
	昼間	22	14	2	8	60%	100%

ニコニコボックス報告 14名 合計金額 15,000円 累計金額 352,000円

観桜会 於：あさひ

出席報告	4月7日	会員数	出席数	出席免除	欠席数	出席率	3/25 修正率
	夜間	22	22	2	0	100%	85%